

公益財団法人 三井住友海上文化財団
平成30年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体（8団体）

平成30年12月現在

団体名	所在地	団体概要・活動実績	助成対象事業				助成金
			交流相手	交流人数	日程	内容（■印は申請書記載の事業名）	
早池峰岳神楽保存会	岩手県	山伏の修行の地であった早池峰山の麓にて、500年以上の伝統を持つと言われる神楽を保存・伝承している。能が生まれる前の中世芸能の面影を今に残しているといわれ、1976年に国の重要無形民俗文化財に指定され、2009年にはユネスコ無形文化遺産に登録された。演目は日本書紀を題材に40種類ほどある。	インドネシア	派遣 10名	平成30年 5月17日～ 5月21日 (5日間)	■日本・インドネシア国交樹立60周年記念 仮面舞踊を通じた日本とインドネシア文化交流事業 岳神楽、バリ舞踊に共通する仮面舞踊を通じた文化交流を図る。公演に加えて、バリ日本語補習授業校の生徒を対象に、岳集落の祭りの際に舞う踊りのワークショップを行い、母国日本に古から伝わる郷土芸能に親しんでもらう。	50万円
特定非営利活動法人 ドルチェ邦楽合奏団	千葉県	1997年に尺八演奏家・坂田誠山氏が千葉邦楽合奏団を設立。以降、東京、神奈川、埼玉にも邦楽合奏団を設立し、2015年に合併・統合、ドルチェ邦楽合奏団とした。2017年にNPO法人認定を受ける。定期演奏会の他、学校公演やコミュニティーでの演奏、海外公演等を実施。	中国	派遣 25名	平成30年 4月25日～ 4月27日 (3日間)	■和楽器と中国伝統楽器の共演と競演 天津音楽学院に於いて同学院奏者とドルチェ邦楽合奏団との共演と競演並びにワークショップを通して、互いの民族楽器・音楽を理解し、日中の文化交流を深める。	50万円
地蔵音楽団	東京都	総勢30名以上が所属するアマチュア音楽団。子供から76歳までの老若男女が所属し、外国人メンバーも在籍している。日本各地から伝わる伝承音楽や世界の民族音楽をリサーチし、各地の音楽家・芸術家や祭りの主催団体とコラボレーションしながら独自の音楽活動を展開。	インドネシア	派遣 6名 招聘 2名	平成30年 7月28日～ 8月6日 (10日間) 平成30年 9月6日～ 9月16日 (11日間)	■日本-ジャワ国際交流・創作プロジェクト ジャワ・パチタンに伝わる絵巻物を用いた音楽芝居を行うグループ“ワヤン・ベベル”とコラボレーションし、インドネシアと日本にて滞在制作を行い、新たな演目を共同創作・上演する。両国の滞在中は一般向けと学校を対象にしたワークショップ・演奏会を開催。	50万円
グロリア少年合唱団	神奈川県	1959年に鎌倉のカトリック雪ノ下教会に発足。幼稚園年少から高校3年生まで約100名が所属。ヨーロッパの伝統的なスタイルを守りながら、本格的な宗教曲に取り組む。聖堂演奏会やメサイア演奏会を開催するほか、5年に一度オーケストラと共に海外演奏旅行を実施。	ポルトガル イタリア	派遣 100名	平成31年 3月26日～ 4月4日 (10日間)	■第6回グロリア少年合唱団海外演奏旅行 1989年から続けている海外演奏旅行の6回目。ポルトガルの文化財団やイタリアの教会から依頼を受け、聖フランチェスコ大聖堂（イタリア）やジェロニモス修道院（ポルトガル）で演奏会を行う。	50万円
知立山車文楽保存会	愛知県	1747年から270年にわたり知立市に継承されている知立の山車文楽。1990年に国指定重要無形民俗文化財に指定、2016年にユネスコ無形文化遺産「山車・鉾・屋台行事」に登録された世界で唯一の山車の引き出し舞台上で上演される文楽。海外招聘公演への参加や万博での上演等、多数の上演実績を誇る。	スウェーデン	派遣 13名	平成30年 4月18日～ 4月23日 (6日間)	■日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念 知立の山車文楽公演 首都ストックホルムで開催される日瑞外交樹立150周年記念事業に招聘され、2018桜祭りの出演や、ストックホルム日本人補習学校において知立山車文楽の上演と体験型ワークショップを実施。	50万円
下津DHCクラブ	和歌山県	旧下津町（現海南市）が地域活性化と人材育成を目的に、1990年に海外派遣研修事業を行い、その参加者で会を設立。ふるさとに夢（Dream）と希望（Hope）をもって挑戦（Challenge）することを標榜し、その頭文字をとって「下津DHCクラブ」として活動している。	モンゴル	招聘 4名	平成31年 1月21日～ 1月22日他 (3日間)	■小学校出前教室「スーホの白い馬と馬頭琴」 小学2年生の教科書でモンゴルの民話「スーホの白い馬」を勉強する際に、学校で馬頭琴等の生演奏を行い、民族音楽を通じて国際理解を深める機会を提供する。また、ファミリーコンサートを開催し、地域の人も交流を図る。	50万円
徳島大学ドイツ兵俘虜研究会	徳島県	第一次世界大戦下の徳島・板東俘虜収容所におけるドイツ俘虜の活動や地域との関わりを研究し、戦時下の友好的交流の史実を顕彰するとともに、その文化遺産を後世に伝えることを目的としている。	ドイツ	招聘 30名	平成30年10月28日～ 11月4日 (8日間)	■奇跡の国際交流「第九日本初演」・「和洋大音楽会」 100周年記念交流プロジェクト 俘虜たちによるベートーヴェンの交響曲「第九」日本初演と西洋音楽・邦楽を通じて市民と共演を果たした和洋大音楽会の100周年を記念して、ドイツのヴィルトベルク音楽学校オーケストラを迎え、日独の青少年を中心とした交流を行う。	50万円
愛媛地球市民の会	愛媛県	国際交流・国際協力の事業を通じ世界の平和と親善に貢献し、地域社会の向上発展に寄与することを目的に1991年に設立。以降、松山市と友好都市提携を結び、韓国・平澤市の市民団体であるピョンテックフォーラムとの相互交流を重ね、友好関係に寄与している。	大韓民国	招聘 21名	平成30年 8月31日～ 9月2日 (3日間)	■韓国平澤市交響楽団と愛媛交響楽団共演交流事業 平澤市民で構成されている韓国平澤市交響楽団を招聘し、愛媛交響楽団との共演による合同演奏会を開催。また、地元の小中学生を招待し、楽器の触れ合い体験等を通じ、国際交流を深める。	50万円

以上 8団体 / 申請総数47団体 助成金合計400万円